

## 拝島駅前自治会 60周年に寄せて

拝島駅前商店会 会長 岡部 恒男

拝島駅前自治会が60周年を迎えられたことに拝島駅前商店会を代表してお祝いを申し上げます。

拝島駅前自治会と当商店会とのつながりは地元（商店会員が自治会員であるかたも多く）であることは当然では有りますが、大変強いものとなっています。当商店会も拝島駅前自治会には及びませんが昨年30周年を迎えることが出来ました。

拝島駅前自治会には、まちづくりにも積極的なご協力をいただき昭和60年(1985年)2月に発足した、拝島駅前自治会、拝島駅前商店会、松原自治会、熊川武蔵野商栄会、武蔵野町会等の地元団体の代表で組織された「拝島駅前の街づくりを考える会」では黒柳一郎氏（当時自治会長）が会長を務められました（この会は現在も後述の「拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会」でも組織の一員となって活動しています）。その後連絡会を経て平成17年(2005年)12月には「拝島駅南口地区まちづくり検討会」が発足し当商店会前会長の深谷和人氏が会長を務められました。平成19年7月には現在活動している「拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会」が発足し私が会長を務めさせていただいております。

これまでのまちづくりへの活動には常に拝島駅前自治会の方々の大きなご協力をいただき大変に感謝を申し上げます。また、今後もまちづくりへのご協力を重ねてお願いする所です。拝島駅南口は昭島市の「拝島駅南口周辺事業」により商店街（何とか現在、商店街の体はなしていますが）も今後大きな変化を迎える時が来ると思います。今「拝島駅南口駅前地区まちづくり協議会」が策定している「地区計画」が昭島市、福生市の両市で条例化され20年30年先には地元の皆様が本当に拝島に住んで良かった思える拝島らしい素敵なまちができることを望んでいます。その時も拝島駅前自治会が地域の中心となって活動されていることは間違いないと思っています。当商店会も自治会に負けないうよう努力をしてまいります。

拝島駅前自治会の今後益々の発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。